



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月3日
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 フジインコーポレーテッド
 コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 彰 TEL 052-503-8181
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	8,483	12.5	1,242	44.8	1,308	49.1	929	29.1
27年3月期第1四半期	7,543	8.2	857	122.4	877	76.8	720	106.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,145百万円 (69.6%) 27年3月期第1四半期 675百万円 (△4.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	36.68	—
27年3月期第1四半期	27.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	51,806	45,206	87.3	1,784.08
27年3月期	51,790	44,694	86.3	1,763.88

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 45,206百万円 27年3月期 44,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	3.9	2,050	0.8	2,100	△6.1	1,550	△16.6	61.17
通期	34,000	3.6	4,100	△0.7	4,200	△8.6	3,100	△16.1	122.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	29,699,500株	27年3月期	29,699,500株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	4,360,735株	27年3月期	4,360,735株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	25,338,765株	27年3月期1Q	25,938,833株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、米国、欧州、日本など先進国では概ね景気回復基調が続きましたが、新興国においては中国の経済成長の鈍化が鮮明となりました。

世界半導体市場は、スマートフォンや車載デバイス関連需要に牽引され堅調に推移しました。このため、主力のシリコンウェハー市場につきましては、引き続きウェハー出荷は高い水準で推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8,483百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益1,242百万円（前年同期比44.8%増）、経常利益1,308百万円（前年同期比49.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益929百万円（前年同期比29.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、シリコンウェハー向け製品の販売増加及び一般工業用研磨材の販売増加により、売上高は4,537百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益（営業利益）は911百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

北米につきましては、売上高は1,230百万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益（営業利益）は為替の影響などにより153百万円（前年同期比93.1%増）となりました。

アジアにつきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品及びアルミディスク向け製品の販売が増加したことから、売上高は2,295百万円（前年同期比17.9%増）、セグメント利益（営業利益）は売上増加に加え製品構成の良化により490百万円（前年同期比71.5%増）となりました。

欧州につきましては、売上高は419百万円（前年同期比15.0%増）、セグメント利益（営業利益）は為替の影響などにより45百万円（前年同期比57.1%増）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場の需要増加の影響を受け、ラッピング材の売上高は829百万円（前年同期比7.4%増）、ポリシング材の売上高は1,476百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

CMP向け製品につきましては、アジア市場で最先端ロジックデバイス向け製品の販売が好調であったことから、売上高は2,822百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、アルミディスク向け製品の販売が好調であったことから、売上高は911百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、売上高は1,914百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、15百万円増加し、51,806百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が740百万円、有価証券が399百万円増加したこと、現金及び預金が974百万円、流動資産の繰延税金資産が178百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、496百万円減少し、6,599百万円となりました。これは、その他流動負債が435百万円増加したこと、賞与引当金が517百万円、未払法人税等が503百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、511百万円増加し、45,206百万円となりました。これは、利益剰余金が295百万円、為替換算調整勘定が204百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表した予想値に変更はありません。今後、業績予想値の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,390	17,415
受取手形及び売掛金	6,487	7,228
有価証券	4,805	5,205
商品及び製品	3,121	3,165
仕掛品	890	955
原材料及び貯蔵品	1,594	1,670
繰延税金資産	690	512
その他	182	140
貸倒引当金	△28	△11
流動資産合計	36,134	36,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,913	7,882
その他(純額)	6,232	6,169
有形固定資産合計	14,146	14,051
無形固定資産	710	687
投資その他の資産		
投資有価証券	247	254
繰延税金資産	154	100
その他	522	552
貸倒引当金	△124	△124
投資その他の資産合計	799	783
固定資産合計	15,656	15,522
資産合計	51,790	51,806

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,319	3,380
未払法人税等	763	260
賞与引当金	947	430
役員賞与引当金	—	20
その他	1,719	2,155
流動負債合計	6,750	6,247
固定負債		
繰延税金負債	13	12
退職給付に係る負債	311	319
その他	20	20
固定負債合計	345	352
負債合計	7,096	6,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,038	5,038
利益剰余金	38,836	39,132
自己株式	△5,379	△5,379
株主資本合計	43,248	43,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133	138
為替換算調整勘定	1,388	1,593
退職給付に係る調整累計額	△76	△69
その他の包括利益累計額合計	1,446	1,662
純資産合計	44,694	45,206
負債純資産合計	51,790	51,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	7,543	8,483
売上原価	4,632	5,018
売上総利益	2,910	3,464
販売費及び一般管理費	2,052	2,222
営業利益	857	1,242
営業外収益		
受取利息	10	10
為替差益	0	41
廃棄物処分益	11	11
その他	11	4
営業外収益合計	34	67
営業外費用		
減価償却費	2	1
固定資産除売却損	12	0
その他	0	0
営業外費用合計	14	1
経常利益	877	1,308
特別利益		
新株予約権戻入益	48	—
特別利益合計	48	—
税金等調整前四半期純利益	926	1,308
法人税、住民税及び事業税	132	147
法人税等調整額	73	231
法人税等合計	206	378
四半期純利益	720	929
親会社株主に帰属する四半期純利益	720	929

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	720	929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	5
為替換算調整勘定	△64	204
退職給付に係る調整額	4	6
その他の包括利益合計	△44	216
四半期包括利益	675	1,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	675	1,145

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	4,115	1,116	1,946	364	7,543	—	7,543
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,400	214	34	—	1,649	△1,649	—
計	5,516	1,330	1,981	364	9,192	△1,649	7,543
セグメント利益	821	79	286	28	1,215	△357	857

(注) 1. セグメント利益の調整額△357百万円は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△355百万円及び棚卸資産の調整額△2百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	4,537	1,230	2,295	419	8,483	—	8,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,485	309	58	—	1,852	△1,852	—
計	6,022	1,540	2,353	419	10,335	△1,852	8,483
セグメント利益	911	153	490	45	1,600	△358	1,242

(注) 1. セグメント利益の調整額△358百万円は、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△375百万円及び棚卸資産の調整額1百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。